



慶應義塾大学ビジネス・スクール

はつらつ生協 岡橋祐理

5

—新任マネージャーの悩み—

岡橋祐理は はつらつ生協 宅配事業企画部営業企画課イベント企画チームのマネージャーに着任した。岡橋は大学卒業後、総合職採用としてはつらつ生協に入協して共同購入配送センターに5年、その後センターの拡大営業4年、宅配営業企画課に異動して4年務めた。このチームは企業や役所や商店街で行うイベントに組合員拡大のためのブースを出展するための営業を行っていた。前任者との引き継ぎが一通り終わり、岡橋は初めて自分のチームのメンバーについて観察する余裕が出てきた。自分の下に部下が5人（正規4名、パート1名）いた。赴任してきた当初から気になっていたがどうもこのチームは上手く回っていない気がする。何が原因なのか岡橋は早急に突き止めたいと思っていた。

10

15

岡橋祐理

岡橋祐理はその地方の私立大学の社会学部の出身で、はつらつ生協には新卒の総合職で入協している。

20

「父は市役所に勤めています。母は看護師です。小さな頃から一生働くのが当たり前という環境で育ちました。大学の時に3年間、近くのスーパーでアルバイトをして、接客業はいいなと思っていたので、百貨店やスーパーなど小売業に進みたいと漠然と思っていました。私が就職活動を行っているとき、はつらつ生協は大々的に女性総合職の積極的活用という方針を打ち出していました。小さい頃から生協の宅配やお店の商品で育っていましたから、生協への就職は第一希望でした。」

25

本ケースは法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授 高田朝子がクラス討議の資料とするために作成したものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 高田朝子 (2021年1月作成)